

婚姻届

令和 年 月 日 届出
(あて先) 長 殿

受 理 令和 年 月 日 第 号		発 送 令和 年 月 日	
送 付 令和 年 月 日 第 号		長 印	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票
決	裁	附	票
住 民 票	通 知		

本 届 書 中 字訂正 字削除 字加入
訂 正 印 夫
妻

令和 年 月 日 午前 時 分受領 午後	
夫 ☐ 免 ☐ 旅 ☐ 住 ☐ その他 ☐ 無 ()	
不受理 ☐ 有 ☐ 無	
通 知 ☐ 要 ☐ 不要	
妻 ☐ 免 ☐ 旅 ☐ 住 ☐ その他 ☐ 無 ()	
不受理 ☐ 有 ☐ 無	
通 知 ☐ 要 ☐ 不要	
使 者 ☐ 免 ☐ 旅 ☐ 住 ☐ その他 ☐ 無 ()	
送 付 令和 年 月 日	
確 認	通 知

(1) 氏 名	夫 に な る 人		妻 に な る 人	
	氏	名	氏	名
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日	
(2) 住 所 (住民登録をして いるところ)	番地 番 号		番地 番 号	
	世帯主 の氏名		世帯主 の氏名	
(3) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	番地 番		番地 番	
	筆頭者 の氏名		筆頭者 の氏名	
父 母 の 氏 名 父母との続き柄 (他の養父母は その他の欄に 書いてください)	父	続き柄	父	続き柄
	母	男	母	女
(4) 婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☐ 夫の氏	新本籍 (左の☐の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)		
	☐ 妻の氏	番地 番		
(5) 同居を始めた とき	昭和・平成・令和 年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)			
(6) 初婚・再婚の別	☐ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)		☐ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)	
(7) 同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 ☐ 妻 ☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 夫 ☐ 妻 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 夫 ☐ 妻 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 ☐ 妻 ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々また は1年未満の契約の雇用者は5) 夫 ☐ 妻 ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 夫 ☐ 妻 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)			
	夫の職業		妻の職業	
(8) 夫 妻 の 職 業	夫の職業		妻の職業	
そ の 他				
届 出 人 署 名 押 印	夫 印		妻 印	
事 件 簿 番 号			住定年月日	夫 昭和・平成・令和 年 月 日 妻 昭和・平成・令和 年 月 日

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。(消えるボールペンは使用しないでください。)
この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で下調べをしておいてください。)
届書は、1通でさしつかえありません。
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人 (必ず当事者以外の成人2人の証人が必要です。)		
署 押 名 印 生 年 月 日	印	印
	昭和・平成 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
住 所	番地 番 号	番地 番 号
	番地 番	番地 番
本 籍	番地 番	番地 番

◎ 署名は必ず本人が自署してください	連 絡 先 (夫・妻・その他) 電話() 番 自宅・勤務先[]・携帯
◎ 印は各自別々の印を押してください	
◎ 届出人の印をご持参ください	

